

今週のビルマのニュース  
2008年6月27日【0818号】

今週の主なニュース：サイクロン被災調査が終了

・9日から現地入りしていたASEANのサイクロン被災状況調査チーム（約250人、世界銀行など国際機関の職員も含む）が調査を完了した。24日に開かれたASEAN人道タスクフォース会合では、引き続き緊急支援が必要だという仮報告がされた。

・国連との協議の結果、軍政が9日に発表したサイクロン被災救援活動についての新しいガイドラインは運用されないことになった。

・サイクロン被害の大きかったイラワジ管区で軍政当局が数千エーカーもの私有農地を接収した。接収の理由については「住むのに危険だから」と説明したという（25日付 DVB）。接収した土地の一部については、他の地方から連れてきた労働者に低賃金で耕させている（24日付 DVB）。またイラワジ管区のボーガレー郡やラプッタ郡では当局が数千人の住民に移住命令を出した（26日イラワディ誌）。

～救援・復興援助をめぐる動き～

5月15日：軍政「救援段階は完了、今後は復興に移る」と発表。この頃、避難所の閉鎖や避難民の追放が始まる。

5月19日：軍政「復興に117億ドルが必要」と発表

5月23日：軍政トップ・タンシュエ将軍「外国人援助要員を受け入れる」と発言

5月25日：第一回支援国会合（ASEAN主導）

6月9日～ ASEANの調査チームが現地入り

6月23日：世界銀行が被災調査を支援するためASEANに85万米ドルのグラントを提供

6月24日：ASEAN人道タスクフォース会合で調査結果の仮報告

7月中旬：ASEAN調査の最終報告発表。これに基づき第二回支援国会合を開催か。

その他：軍政が大幅改変、ほか

・軍政が大幅な組織改編を行なった。高官5人を引退させ、150人が異動。2010年に予定の総選挙を見越した動きだとする見方も（25日付 AFP ほか）。

・タイ国営石油会社 PTT とビルマの国営石油会社 MOGE が 23 日、ビルマ沖の天然ガス鉱区 M9 ブロックから天然ガスを購入する基本合意書に調印した。

・韓国の大宇インターナショナルやインドの国営天然ガス公社などのコンソーシアムは、ビルマ沖で 2012 年から生産される見込みの天然ガスを中国の

CNPC に供給する覚書を締結した。ガスを運ぶために雲南省までパイプラインが建設される見込みだが、建設地域で軍が増強され、住民に対する人権侵害が起きる可能性が指摘されている。

・ビルマ国営紙によれば、インドがミャンマーに送電線とアルミニウム工場建設のため 8400 万ドルの融資を決めた（25日付 AP）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

今週の発表はなし。

イベントなど

☆ハリウッド・スターとビルマの30日

ハリウッドの人気俳優が日替わりでビルマを語る！  
[www.burmainfo.org/solidarity/30daysforburma.html](http://www.burmainfo.org/solidarity/30daysforburma.html)

・在日ビルマ人共同行動実行委員会「国連および日本政府は、ビルマの国民投票の結果を受け入れないでください！ビルマ政府に対し、スーチーさんの釈放を強く求めてください！」（国連大学前、27日15～16時、30日15～17時）

・映画『ビルマ、パゴダの影で』上映&トーク、ピースムーブメント実行委員会/アムネスティ京都グループ主催（京都 ひと・まち交流館京都 3階、7月5日18時45分～）

・2008年世界難民の日・全国リレー、2008年世界難民の日実行委員会主催（7月5日14時～東京集会@JICA地球ひろば3階講堂、7月6日14時～大阪集会@大阪市北区民センター2階ホール）

・名古屋に住むビルマ人・フィリピン人と共に 今、アジアで起きている出来事を考える（名古屋大学情報文化学部棟4階 SIS3室、7月6日14時～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）  
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
[yuki@burmainfo.org](mailto:yuki@burmainfo.org) 080-2006-0165